

平成31年春ダイヤ改正について

河鉄西日本では、平成31年3月16日（土）にダイヤ改正を実施します。

在来線特急では全ての「グランツ古都」を「りんくうタウン駅」「和泉中央駅」に新規停車、特急「はまゆう」「しらはま」を白浜駅～新大阪駅間に経路変更、北陸特急・舞鶴特急・ビジネス特急の新設を行います。近畿エリアでは、滋賀東西線、京神線をはじめとする計8路線の新路線の開業や直通列車の新設、快速列車の増発など大幅修正いたします。また、岡山エリアの営業を開始します。

この度、内容がまとまりましたので、お知らせします。

《 在来線特急 》

- 特急「グランツ古都」全列車が「りんくうタウン駅」「和泉中央駅」に停車
- 特急「しらはま」「はまゆう」を白浜駅・和歌山駅～新大阪駅間に経路変更
- 特急「クロユリ」が大阪駅～金沢駅間で運行開始
- 特急「ナツエビネ」が奈良駅～舞鶴駅間で運行開始

《 在来線急行 》

- 急行「みやこ」を廃止

《 近畿エリア 》

- 滋賀東西線、舞鶴線、北陸線、羽曳野線、大阪中央線、天理線、京神線、名張線開業
- 大阪空港線開業により奈良から大阪空港まで直結
- 大阪南北線～槻駒線直通の「泉北路快速」を新設
- 大阪環状線に「区間快速」を新設
- 宝塚線の「快速」を約40往復増発
- 京都市内線の運転間隔を統一

《 岡山エリア 》

- 岡米線；岡山駅～岡山空港駅間が開業
- 山陽瀬戸線が新規開業

ダイヤ改正日 平成31年3月16日（土）

I. 在来線特急

1. 特急「グランツ古都」を「りんくうタウン駅」「和泉中央駅」に全列車停車
全ての関西空港アクセス特急「グランツ古都」が「りんくうタウン駅」、「和泉中央駅」に停車します。



2. 特急「しらはま」「はまゆう」を白浜駅～新大阪駅間に経路変更
南紀特急「しらはま」及び特急「はまゆう」の運行経路を白浜駅・和歌山駅～新大阪駅間に変更いたします。これにより、新幹線からのご利用が便利になります。



3. 特急「クロユリ」「越前」の運行開始

特急「クロユリ」が大阪駅～金沢駅間で、特急「越前」が福井駅～金沢駅間で運転を開始します。

4. 特急「ナツエビネ」の運行開始

特急「ナツエビネ」が奈良駅～舞鶴駅間で運転を開始します。
舞鶴・綾部など若狭地域から奈良への旅行の利便性が向上します。

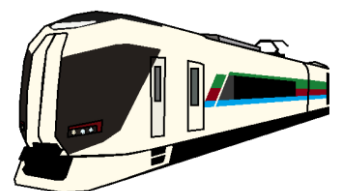
5. ビジネス特急「びわこ」の運行開始

平日限定でビジネス特急「びわこ」を大阪駅～米原駅間で運転します。
これにより、ゆったりとくつろいで通勤・通学していただけます。

II. 在来線急行

1. 急行「みやこ」を廃止

朝夕時間帯に大阪～京都間にて運行している急行「みやこ」を廃止します。代替として、ビジネス特急「びわこ」の運行を開始します。



Ⅲ. 近畿エリア

1. 滋賀東西線が開業します。

滋賀東西線（京都駅～米原駅間）が開業します。これにより米原・彦根などの湖東地域と京都・大阪・和歌山・関西空港が一つにつながり、アクセスが向上します。また運行列車は7～15両編成となり、関西最大の輸送力を発揮します。

種別	本数	運転区間	備考
関西快速	1時間2本	米原駅～関西空港駅・和歌山駅間	日根野駅～和歌山駅間は各駅停車
	1時間2本	野洲北駅～関西空港駅・和歌山駅間	
快速	1時間2本	東長浜駅～日根野駅間	東長浜駅・野洲北駅～北高槻駅間は各駅停車
	1時間2本	野洲北駅～日根野駅間	
普通	1時間4本	北高槻駅～天王寺駅間	
	1時間4本	北高槻駅～堺市駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

2. 舞鶴線が開業します。

舞鶴線（京田辺駅～舞鶴駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
若狭路快速	1時間1本	新綾部駅～奈良駅間	
快速	1時間1本	新園部駅～京田辺駅間	夕時間帯のみ運転
普通	30分1本	新園部駅～京田辺駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

3. 北陸線が開業します。

北陸線（米原駅～金沢駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
普通	30分2本	日根野駅～東長浜駅間	大阪・京都・滋賀東西線直通列車
	1時間1本	東長浜駅～福井駅間	
	1時間1本	福井駅～金沢駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

4. 羽曳野線が開業します。

羽曳野線（古市駅～堺東駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
普通	15分1本	古市駅～堺東駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

5. 大阪中央線が開業します。

大阪中央線（北梅田駅～天王寺駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
普通	5分1本	北梅田駅～天王寺駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

6. 天理線が開業します。

天理線（奈良駅～高田駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
普通	1時間1本	奈良駅～高田駅間	
	1時間1本	奈良駅～天理駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

7. 京神線が開業します。

2017年まで KRL 西国鉄道が運行していた路線がリニューアルし、京神線（京都駅～新須磨駅間）として運転を再開します。また、新たに滋賀鉄道と相互直通運転を実施し、米原駅～三ノ宮駅間の直通快速や大姫電鉄と直通運転を実施し名古屋駅・米原駅・京都駅～姫路駅・岡山駅・広島駅間の直通特急など多種多様な運行を実施いたします。

種別	本数	運転区間	備考
直通特急	2時間1本	米原駅～広島駅間	
	2時間3本	京都駅～姫路駅間	
直通快速	20分1本	米原駅～三ノ宮駅間	
新快速	20分1本	京都駅～三ノ宮駅間	
快速	20分1本	京都駅～新須磨駅間	
普通	20分1本	十条駅～新須磨駅間	
	20分1本	枚方駅～新須磨駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

8. 名張線が開業します。

名張線（天理駅～榊原温泉駅間）が開業します。一部列車は、河鉄東海；青松線に直通します。

種別	本数	運転区間	備考
特急「さんこう」	1時間2本	KRL尼崎駅～鳥羽・賢島駅間	
普通	1時間2本	天理駅～松阪駅間	
	1時間1本	天理駅～名張駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

9. 大阪南北線・槻駒線の運行形態を見直します。

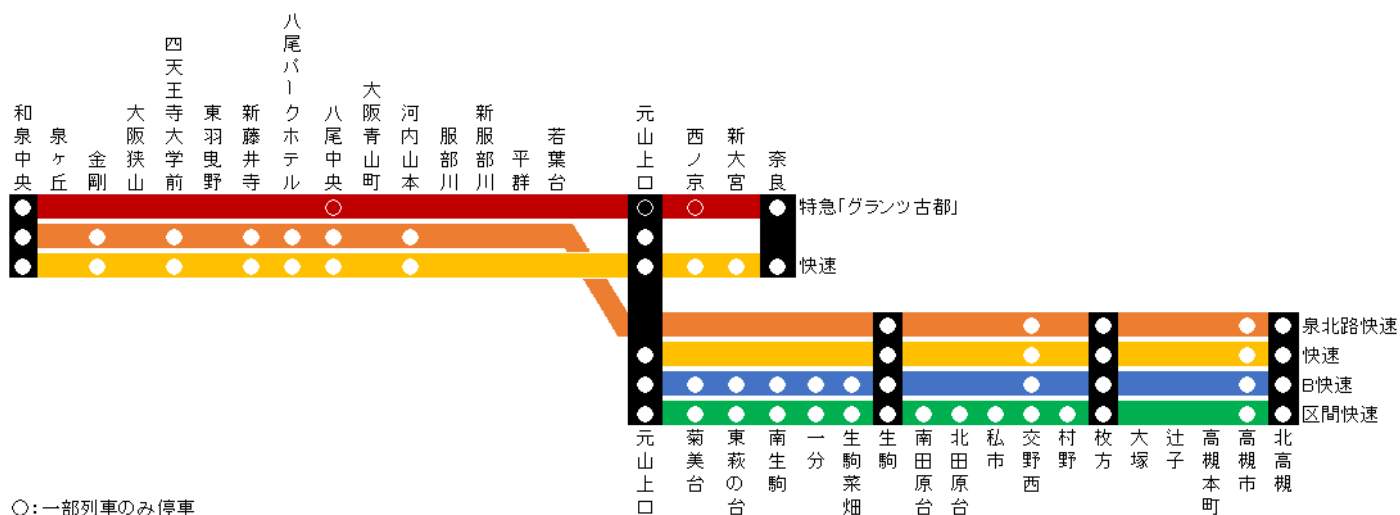
槻駒線；生駒菜畑駅～元山上口駅間の新規開業に合わせて、大阪南北線との直通運転を開始し、直通快速として「泉北路快速」を新設します。また、早朝に北高槻駅発関西空港行きの「関西快速」を3本新設します。これにより早朝の高槻・枚方地域から関西空港へのアクセスの利便性が向上します。

●日中の運転本数・運転区間

路線	種別	本数	運転区間
大阪南北線	特急 「グランツ古都」	30分1本	関西空港駅～奈良駅間
	泉北路快速	15分1本	和泉中央駅～北高槻駅間
	普通	30分1本	和泉中央駅～奈良駅間
		30分1本	和泉中央駅～元山上口駅間
槻駒線	泉北路快速	15分1本	和泉中央駅～北高槻駅間
	区間快速	15分1本	元山上口駅～北高槻駅間
	普通	15分1本	枚方駅～北高槻駅間

※概ね日中の運転本数を記載しています。

●停車駅のご案内



10. 大阪環状線に「区間快速」を新設します。

大阪環状線では、朝・夕時間帯に一部区間のみ快速運転をする「区間快速」を新設します。これにより大阪駅～天王寺駅間の東区間では、朝・夕時間帯はすべての列車が各駅に停車します。



11. 奈良線の複々線区間が延長になります。

平成29年9月16日より奈良線：難波駅～新大阪駅間が複々線となりましたが、この春よりさらに花園駅～奈良駅間が複々線となります。

12. 大阪空港線開業により奈良から大阪空港まで一つにつながります。

大阪空港線（新大阪駅～大阪空港駅間）開業により、奈良駅から大阪空港駅まで一つにつながります。1時間当たり4本の普通に加え、新快速を運行します。



13. 宝塚線の始発時間を繰り上げます。

宝塚駅の始発時間を現行の18分繰り上げます。

	宝塚駅 (発)	尼崎駅 (発)	大阪駅 (着)
現行	—	4:47	5:00
改正後	4:23	4:44	4:55

13. 宝塚線の快速列車を増発します。

宝塚線（大阪駅～宝塚駅間）では、朝・夕時間帯を中心に合計約40往復増発します。これにより通勤・通学の利便性が向上します。



14. 京都市内線の運転間隔を統一します。

京都市内線（京都南北線、京都東西線）において、運行ダイヤを終日パターン化します。これにより、通勤・通学に加え、観光されるお客様にも分かりやすいダイヤに変更します。

路線	種別	本数	運転区間
京都南北線	普通	5分1本	丹波橋駅～修学院駅間
京都東西線	普通	1時間3本	北亀岡駅～山科駅間
		1時間1本	嵐山駅～山科駅間

※概ね日中の運転本数を記載しています。

IV. 岡山エリア

1. 岡米線；岡山駅～岡山空港駅間が先行開業します。

岡山と米子を結ぶ岡米線の岡山駅～岡山空港駅間が先行開業します。

種別	本数	運転区間	備考
快速	3時間1本	岡山駅～岡山空港駅間	
普通	30分1本	岡山駅～岡山空港駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

2. 山陽瀬戸線が開業します。

山陽瀬戸線（岡山駅～鶴海駅間）が開業します。

種別	本数	運転区間	備考
普通	1時間1本	岡山駅～鶴海駅間	

※概ね日中の運転本数を記載しています。

V. その他

今回の改正において、その他線区でもご利用状況にあわせた列車の設定見直しを実施します。